

シュテファン・アイクト 博士

ハンブルク大学社会学部 准教授、「持続可能な社会研究センター (CSS)」所長

ハンブルク大学社会学部准教授、および同大学「持続可能な社会研究センター (CSS)」所長。ベルリン自由大学、イスタンブール・サバンジュ大学、パリ社会科学高等研究院 (EHESS) で社会・政治科学と歴史学を学ぶ。研究においては、現代社会が地球規模の生態系問題 (特に気候変動) にどのように関わっているか、生態系危機がどのように科学的に解釈され、政治的に処理され、社会変革のプログラムに組み込まれていくのか、またこの過程で新しい対立や社会協調の新しい形態がどのように出現するかを観察している。地球規模気候ガバナンスや各国のエネルギー転換について広く出版、また “Gouverner le climat? négociations internationales (Presses de Sciences Po, 2015)”, “Globalising the climate: COP21 and the 'climatisation' of global debates (Routledge, 2017)”, “Climatiser le monde (Quae, 2020)” を共著。